

平成 30 年 3 月 30 日

各 位

会 社 名 ピクセルカンパニーズ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 吉田 弘明
(コード番号 2743 JASDAQ)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取締役副社長兼コーポレート本部長 本瀬 建
電 話 03-6731-3414

(訂正)「営業損失、特別損失の計上及び平成 29 年 12 月期連結業績と前期実績との
差異に関するお知らせ」の一部訂正について

平成 30 年 2 月 14 日に公表しました「営業損失、特別損失の計上及び平成 29 年 12 月期連結業績と前期実績との
差異に関するお知らせ」につきまして、下記のとおり訂正がありましたのでお知らせいたします。

記

1. 訂正の経緯

平成 30 年 2 月 14 日付「営業損失、特別損失の計上及び平成 29 年 12 月期連結業績と前期実績との差異に関する
お知らせ」の公表後に、記載内容の一部に誤りがあることが判明いたしましたので、これを訂正いたします。

2. 訂正内容

訂正箇所には____(下線)を付して表示しております。

1. 2. 省略

3. 差異の理由

(訂正前)

平成 29 年 12 月期は、事業ドメインの選定に伴い、オフィスサプライ事業、美容・越境事業、フィンテック・IoT 事業に含まれる半導体製品の製造・開発事業より撤退したこと等により前期に比べ売上高が減少いたしました。事業撤退に伴う利益の減少の他、フィンテック・IoT 事業におけるスマートタクシーメーター開発による研究開発費 75 百万円や IR 事業におけるゲーミングマシンの開発による研究開発費 498 百万円の他、連結子会社であるアフロの株式簿価を減損処理したことに伴うのれんの一時償却 173 百万円等により営業損失を計上したことにより、前期に比べ連結営業利益、連結経常利益が減少いたしました。また、事業ドメインの選定に伴う子会社株式売却において株式会社ビー・エイチの株式譲渡により子会社株式売却益 32 百万円を計上したものの、フジブリッジ株式会社の株式譲渡及びハイブリッド・サービス株式会社の株式譲渡により、子会社売却損 687 百万円を計上いたしました。この他、上記「1. 営業損失及び特別損失について (2) 特別損失の内容 ②連結決算」のとおり、アフロの株式簿価の減損処理に伴い、超過収益力を合理的かつ保守的に見直したことによるのれんの減損損失 285 百万円を計上したことや貸倒引当金繰入額の計上等により前期に比べ親会社株主に帰属する当期純利益は減少いたしました。

～後略～

(訂正後)

平成 29 年 12 月期は、事業ドメインの選定に伴い、オフィスサプライ事業、美容・越境事業、フィンテック・IoT 事業に含まれる半導体製品の製造・開発事業より撤退したこと等により前期に比べ売上高が減少いたしました。事業撤退に伴う利益の減少の他、フィンテック・IoT 事業におけるスマートタクシーメーター開発による研究開発費 64 百万円や IR 事業におけるゲーミングマシンの開発による研究開発費 498 百万円その他、連結子会社であるアフロの株式簿価を減損処理したことに伴うのれんの一時償却 173 百万円等により営業損失を計上したことにより、前期に比べ連結営業利益、連結経常利益が減少いたしました。また、事業ドメインの選定に伴う子会社株式売却において株式会社ビー・エイチの株式譲渡により子会社株式売却益 32 百万円を計上したものの、フジブリッジ株式会社の株式譲渡及びハイブリッド・サービス株式会社の株式譲渡により、子会社売却損 687 百万円を計上いたしました。この他、上記「1. 営業損失及び特別損失について (2) 特別損失の内容 ②連結決算」のとおり、アフロの株式簿価の減損処理に伴い、超過収益力を合理的かつ保守的に見直したことによるのれんの減損損失 285 百万円を計上したことや貸倒引当金繰入額の計上等により前期に比べ親会社株主に帰属する当期純利益は減少いたしました。

～後略～

以上